

平成28年

謹賀申年

平成16年から毎年、極彩色木彫家・平野千里氏から、翌年の干支にちなんだ作品が、区に寄贈され、今年の「寿猿」(写真左)で十二支がそろいました。

十二支の作品は、1月6日(水)まで、区役所1階ロビーに展示しています。ぜひ、ご覧ください。

問合せ 文化交流推進課 ☎内線2521



極彩色木彫家・平野千里氏

昭和23年生まれ、西日暮里在住。日本の伝統工芸「木彫彩色」の第一人者である平野富山氏の次男。昭和43年～63年、イタリア・ローマで彫刻を学び、帰国後父の工房に入る。日本の極彩色彫刻に西洋彫刻のセンスを生かし、伝統芸術に新しい息吹を注いでいる。平成20年、荒川区芸術顧問に就任。

結びに、本年が区民の皆さまにとって心豊かに安心して暮らせる一年となりますよう心からお祈りし、年頭のごあいさつといたします。

新年あけましておめでとうございませう。区民の皆さまにおかれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

「子育て支援部」を創設して、今年で10年目を迎え、これまで、2千人を超える保育定員の拡大、認証保育所等保育料の差額補助、病児・病後児保育施設の整備等を行って参りました。今年度は、全小学校に「ここにこそこころ」を設置、国家戦略特区に認定された公園内への保育施設の整備等、さらに多様な子育て支援施策を行って参ります。

このような取り組みが評価され、平成27年、日本経済新聞社と日経B.P.社「日経DUAL」が行った調査では、荒川区が「共働き子育てしやすい街」のランキングで、第1位となりました。これは全国主要都市100自治体を対象とした「自治体の子育て支援制度に関する調査」により客観的に評価されたもので、懸命に努力した職員の結果だとうれしく思っております。

もちろん子育て支援の施策以外にも力を注いでいます。区内8か所目の地域包括支援センターの開設、特殊詐欺対策に効果のある自動通話録音機2100台の無償設置、区立全中学校に防災部を創設し、防災ジュニアリーダーを育成、河川水や地下水を活用した永久水利施設の整備、平成29年春の開設を目指して準備を進めている複合施設「ゆいの森あらかわ」の整備等、さまざまな施策を進めています。



荒川区長・特別区長会会長
西川 太一郎

年頭にあたって